

JRC部

青少年赤十字の『気づき・考え・実行する』を合言葉に、中山間地 雲南地域のニーズ(必要とされていること)を、すべて自分たちで“気づき”、自分たちで“考え”、自分たちで楽しくチャレンジ“実行”しています。(教員は、経費(特に交通費)の調達と、失敗した時に一緒に頭を下げるに行くことだけで、見守り待つことに徹しています。)

その活動は多岐にわたり、募金活動、緊急時・高齢者・障がい者・乳幼児・認知症対応研修、救急法資格取得、あいさつリーダー(障がい者サポートリーダー)認定・認知症サポートリーダー認定、保育所・児童クラブ・高齢者施設・視覚障がい者支援ボランティア、3・3・3 つながるプロジェクト(3つの地域の福祉施設と3刀屋高校生と3つの支援先をつなぐチャリティ企画)、Original Style in 雲南 ~広げる健康・繋げる命~プロジェクト(約30年ぶりに校内献血を復活企画・昼食販売を実現・永井隆博士の平和と健康をテーマにワークシート・スタンプラリー製作配布等)・梅でつながる魅力発信・交流プロジェクト(放置梅を地域の方と一緒に収穫体験・梅ジャム作り・販売・大地図や看板の設置・体験交流会等)、笑顔でつながる世代間交流プロジェクト(特に高齢者支援としてスマホ教室・ミニゲーム大会・ストレッチ&おしゃべり会等の主催・困りごとアンケートの集約と周知等)、豪雨災害復旧ボランティア、地域行事のボランティア等、詳しくはHPをご覧ください。

特に令和2年度には、三刀屋ライオンズクラブのご協力のもと、約三十年ぶりに校内献血を復活させました。その啓発は工夫満載であることが功を奏し、県内の高校では史上最多の生徒が献血に協力してくれたこと、それを更新し続けていること、本校の累積献血者が五千人に達したこと等を評価され、令和4年度には「厚生労働大臣より献血推進感謝状」を授与されました。

また、令和2年度からコロナ感染症禍に「パンの自動販売機」が撤去されて以来、弁当を忘れて食べるものが無いままの状態が長い間続いていることを打開するため、部員たちは全校生徒がもれなく昼食を食べられるように!と願いながら奔走し、約一年半かけて昼食移動販売を実現させました。保護者大島様のご尽力とサンコープ雲南様のご協力あってのことと感謝しています。当初から年間約130名以上の生徒有志が販売補助ボランティア等で未永く円滑に継続できるように協力してくれています。

これらの高校生目線で地域のニーズに根ざしたオリジナルの活動が、次第に知られるようになり、令和4年度には「島根県優良少年団体表彰」、令和7年度には「島根県児童生徒学芸顕彰」を授与されました。また、令和8年度の「全国赤十字大会」で高校生の代表として研究発表することも決まりました。

地域で連携してくださる方々や機関が年々増え、地元からの声のかけられ方も「地元へ出るようになったかね→ボランティアに来てほしい→企画段階からお願いしたい」と変遷してきたことから、地域で頼られる存在になってきたと感じています。

受賞・顕彰・資格取得等の記録

平成27(2015)年度

「島根県赤十字救急法競技大会」三角巾包帯法の部 第二位
・地域ボランティア多数

平成28(2016)年度

「全国青少年赤十字リーダーシップスタディセンター」島根県代表(板持)
・地域ボランティア多数

平成29(2017)年度

「島根県赤十字救急法競技大会」心肺蘇生の部 第二位、三角巾包帯法の部 第3位
・募金活動・梅里苑訪問・地域ボランティア多数

平成30(2018)年度

・募金活動・梅里苑訪問・地域助け合いプロジェクト・地域ボランティア多数

令和元(2019)年度

・募金活動・梅里苑訪問・地域ボランティア多数

令和2(2020)年度

「青少年赤十字国際交流集会」島根県代表
「全国ボランティアスピリットアワード」ボランティアスピリット賞
「あいサポーター(障がい者サポーター)」22名
「認知症サポーター」11名
『3・3・3つながるプロジェクト』・募金活動・梅里苑訪問・地域ボランティア多数

令和3(2021)年度

「全国マイプロジェクトアワード全国サミット」優秀賞
「全国ボランティアスピリット」ブロック賞・ボランティアスピリット賞
「島根県高文連青少年赤十字 研究発表」最優秀賞
来年度の全国総合文化祭代表権獲得
「島根県探究フェスタ」最優秀賞
「ベーシックライフサポーター(救急法基礎)」取得七名
(白石、吉田、多々納、景山み、景山も、坂本、新藤)
「あいサポーター(障がい者サポーター)」22名(個人名省略)
「認知症サポーター」七名(個人名省略)
『Original Style in 雲南 ～広げる健康・繋げる命～』・校内献血復活・昼食販売を実現・豪雨災害復旧・募金活動・地域ボランティア 多数

令和4(2022)年度

「厚生労働大臣より献血推進感謝状」

「全国総合文化祭ボランティア部門」島根県代表

「全国ボランティアスピリット」コミュニティ賞・ボランティアスピリット賞

「全国青少年赤十字リーダーシップスタディセンター」島根県代表(秦)

「島根県高文連青少年赤十字 研究発表」最優秀賞

来年度の全国総合文化祭代表権獲得

「島根県優良少年団体表彰(教育長表彰)」

「ベーシックライフサポーター(救急法基礎)」6名(新規取得 奥井)

「あいサポーター(障がい者サポーター)」21名(個人名省略)

「認知症サポーター」10名(個人名省略)

『梅でつながる魅力発信・交流プロジェクト』

校内献血と昼食販売の継承・募金活動・地域ボランティアなど多数

令和5(2023)年度

「全国ボランティアスピリット」ブロック賞・ボランティアスピリット賞

「全国ボランティアアワード」ポスター発表の部入賞

「全国総合文化祭ボランティア部門」代表権(主催者の都合で不開催)

「島根県高文連青少年赤十字 研究発表」最優秀賞

来年度の全国総合文化祭代表権獲得

「島根県優良少年団体表彰(教育長表彰)」

「ベーシックライフサポーター(救急法基礎)」6名(個人名省略)

「あいサポーター(障がい者サポーター)」21名(個人名省略)

「認知症サポーター」10名(個人名省略)

『笑顔でつながる世代間交流 ~Original Style in 三刀屋~』

校内献血と昼食販売の継承・募金活動・地域ボランティアなど多数

令和6(2024)年度

「全国高等学校総合文化祭 ボランティア部門」代表権獲得

「全国高校生ボランティアアワード 2024」入賞

「中四国ボランティアスピリット」中四国ブロック賞

「全国ボランティアスピリット賞」入賞

「島根県高文連青少年赤十字 研究発表」優秀賞

「雲南市人権啓発ステージ」代表発表

「平和祈願祭」運営

「永井隆平和賞」司会

「ベーシックライフサポーター」20名(個人名省略)

「あいサポーター(障がい者サポーター)」31名(個人名省略)

『救急員』18名(岡崎か、岡崎ひ、小田川、小池、伊山あ、荒木、嘉本、高尾、松本、大坂、吉岡、板垣、伊山ゆ、

小林、布野、松田、森山、渡部)

「健康生活支援員」2名(奥井・森山)

「幼児安全法支援員」2名(景山、森山)

「ベーシック ライフ サポーター(救急法基礎)」30名

「あいサポーター(障がい者サポーター)」31名

『三刀屋から世界へ～三刀屋の梅とフェアトレードの輪を広げよう～』等
校内献血と昼食販売の継承・募金活動・地域ボランティアなど多数

令和7(2025)年度

「全国ボランティアアワード2025」日本赤十字社JRC賞

「全国青少年赤十字リーダーシップ スタディセンター」島根県代表(奥井)

「全国情報教育コンテスト」企画賞・入賞(石田・奥井)

「島根県児童生徒学芸顕彰」(教育長から顕彰)

「島根県高文連 青少年赤十字 研究発表」最優秀賞

来年度の全国総文祭への代表権獲得

全国「日本赤十字社 機関誌(2種類)」に特集ページ など 全国での報道多数

来年度の「全国赤十字大会」で高校生の代表として研究発表することが決定

「雲南市人権啓発ステージ」代表発表

「平和祈願祭」運営

「永井隆平和賞」司会

「ベーシックライフサポーター」22名(個人名省略)

「あいサポーター(障がい者サポーター)」26名(個人名省略)

『救急員』18名(個人名省略)

「健康生活支援員」1名(森山)

「幼児安全法支援員」1名(森山)

「ベーシック ライフ サポーター(救急法基礎)」22名

「あいサポーター(障がい者サポーター)」26名

『神楽でつなぐ地域の絆と防災力』等

校内献血と昼食販売の継承・募金活動・地域ボランティアなど多数